

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
関係行政論		選択	2	3	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	木曜日 12:10~13:00			
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;公認心理師が活動する際に出会う法律・制度について学び、公認心理師としての適切な判断や支援、多職種とのスムーズな連携・協働に必要な基礎知識を身につけることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;公認心理師が活動する5分野（保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働）に関する法律・制度について、それらの成立や改正の背景にも着目しながら概説する。適宜事例を用いたワーク等を取り入れ、法律・制度と公認心理師の役割とのつながりについて理解を深める。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
学習上の助言	ワークへの回答や指名による発言を求めながら進めるため、積極的に参与してほしい。講義内容に関する疑問が生じた場合にはそのままにせず、講義中の質問やリアクションペーパー、オフィスアワー等を活用し、理解を深めてほしい。					
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。					
参考書	公認心理師の基礎と実践③ 関係行政論 第3版/監:野島一彦、繁樹算男/編:元永拓郎/法律監修:黒川達雄/遠見書房/2024年					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	公認心理師法の概念を理解し、公認心理師の役割や倫理について体系的に説明できる。			HC (5)		
②	各分野に関する法律・制度の基本的な概念を理解し、体系的に説明できる。			HC (5)		
③	各分野における心理社会的課題に関心をもち、法律・制度の観点を含めて自らの考えを述べるができる。			HC (1)、(3)、(5)		
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション 公認心理師が法律を学ぶ意義、法律の基本構造について学ぶ。	講義・演習	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	2		
2	公認心理師法について学ぶ。	講義・演習	<予習> 提示された課題(事例)について、公認心理師として必要な法律・制度の知識は何かを検討する。  <復習> 配布資料をもとに講義内容を整理する。そのうえで自らの考えをまとめ、リアクションペーパーを提出する。 講義で取り扱った法律の条文を「e-Gov 法令検索」を活用して確認する。	4		
3	保健医療分野 1:医療全般に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
4	保健医療分野 2:精神科医療に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
5	保健医療分野 3:地域保健・医療に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
6	福祉分野 1:児童福祉に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
7	福祉分野 2:障害者(児)福祉に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
8	福祉分野 3:高齢者福祉に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
9	教育分野 1:教育分野に関する基本的な法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
10	教育分野 2:教育分野における心理的支援に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
11	司法・犯罪分野 1:刑事事件ならびに犯罪被害者支援に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
12	司法・犯罪分野 2:少年事件に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
13	司法・犯罪分野 3:家事事件に関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
14	産業・労働分野:労働者のメンタルヘルスに関する法律・制度について学ぶ。	講義・演習		4		
15	これまでの学習の総括を行う。	講義・演習		講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。	6	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。		
---	---------------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	55	0	0	0	5	60
	思考・推論・創造する力	5	0	0	0	10	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	5	0	0	0	5	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
問題を発見・解決する力		5	0	0	0	5	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する（70点満点）。 定期試験では、専門用語について問う選択問題と、講義で扱った知識をもとに自らの考えをまとめる論述問題を出題する。	Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	各回講義後に、Teams の課題機能を用いてリアクションペーパーの提出を求める。講義内容に関する考察や気づきが具体的に記述されているかを評価する（全 15 回、各 2 点満点で計 30 点満点）。	締め切り後、評価点を付して返却する。 リアクションペーパーで受けた質問については、講義中にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、2年の心理査定業務の経験がある。
実践的授業の内容	専門性とこれまでの経験をもとに、受講生がイメージしやすい具体例や実践的な情報を交えながら授業を進める。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>公認心理師の国家資格取得希望者は必ず履修すること。</li> <li>現行の法令は「e-Gov 法令検索」(<a href="https://elaws.e-gov.go.jp/">https://elaws.e-gov.go.jp/</a>) で閲覧可能である。予習・復習の際に活用してほしい。</li> <li>講義中に「e-Gov 法令検索」を閲覧する機会も多いため、インターネット検索できる端末（スマートフォン、タブレットなど）を必ず持参すること。</li> <li>自らの考えを記述する課題（リアクションペーパー、筆記試験の論述問題等）において、生成 AI の出力結果を利用することを禁止する。これに反した場合は評価の対象外とする。</li> </ul>